

GTIコンソーシアムシンポジウム2017 ～産学官連携による人材育成の取り組み～

2017年12月7日(木)15:00-17:40
(14:30開場)

本シンポジウムでは、GTIコンソーシアムが取り組んでいる産学官連携による人材育成の取り組みを紹介いたします。事例紹介として、産学官連携グローバルPBLを実施した企業、教員、学生それぞれの立場から、どのように連携がはじまったのか、産学官連携のメリット、苦労した点を報告いただき、今後の更なる活動活性化へと繋げてまいります。

[会場] 芝浦工業大学 豊洲キャンパス交流棟6階 大講義室
[言語] 英語・日本語(同時通訳あり) **[参加費]** 無料

■プログラム

15:00 開会挨拶
学校法人芝浦工業大学 理事長 五十嵐 久也氏

15:05 来賓挨拶
文部科学省 高等教育局 高等教育企画課長 蝦名 喜之氏
経済産業省 貿易経済協力局 技術・人材協力課長 栗本 聡氏

15:15 基調講演
「教育立国日本におけるGTIコンソーシアムの使命」
GTIコンソーシアム 代表/芝浦工業大学 学長 村上 雅人氏

15:55 GTIコンソーシアムについて
芝浦工業大学 副学長 井上 雅裕氏

16:15 コーヒーブレイク

16:35 グローバルPBL報告 1
株式会社高見沢サイバネティックス 教授 小池 義和氏
芝浦工業大学 電子工学科 学生 臼田 侑史氏

17:05 グローバルPBL報告 2
株式会社 リプス・ワークス 代表取締役 井ノ原 忠彦氏
芝浦工業大学 デザイン工学科 教授 相澤 龍彦氏
芝浦工業大学大学院 理工学研究科 学生 長谷川 智紀氏

17:35 閉会挨拶
芝浦工業大学 副学長 守田 優氏

18:00 懇親会 (会費制：2,000円)



[お問い合わせ・申し込み]
GTIコンソーシアム事務局 (芝浦工業大学国際部SGU推進課)

<http://plus.shibaaura-it.ac.jp/gti/>
申し込み締切：12月3日(日)



グローバルPBL報告

マイコン・生体計測・光・制御・センサをキーワードとしたシステムの構築

本グローバルPBLでは、タイと日本の学生が5つの混成プロジェクトチーム（1チーム4名）を結成し、タイのキングモンクット王トンプリー工科大学（KMUTT）にて、マイコン、生体計測、光、制御、センサに関するプログラムに取り組みました。

あらかじめ決定しておいたチームごとに、GTIコンソーシアム加盟企業にご提供いただいた、「音による硬貨識別について」及び「居残り検知センサの課題について」というテーマに臨みました。

なお、卒業研究にも継続して本PBL関連テーマに取り組む事で、将来的な共同研究への発展も目的としています。

シリコンバレーからの自動車産業勃興に向けたアジアモノづくり技術展開への提言

本グローバルPBLは、タイ、インドネシア、ベトナム及び日本の学生がチームを組み、今まさに起きているシリコンバレーでの同時多発的な新規自動車業界—シェアリング、コネクテッド、電気自動車、自動運転の参入について、日本の各先進ものづくり企業において各社ができるビジネスモデルと技術革新課題を定め、それらへのソリューションを一緒に提言するプログラムを行いました。

第1ステップで連携企業によるシリコンバレーでの新自動車産業に関する特別講義を受け、第2ステップでは、実際に各社にて現行のビジネスモデルを理解した上で新規自動車産業に対するアプローチをするための課題の明確化を行い、第3ステップでは英文提案書の策定及び発表を行いました。

なお、グルーピングの際には留学生の出身国に支店・取引がある企業へ優先的にマッチングさせることで、プログラム内のみにとどまらず、将来的な現地での雇用の実現性を高める事を目的としました。

グローバルPBL(Project Based Learning)とは

GTIコンソーシアムに加盟する大学の学生が、複数の国籍からなるチームを形成し、企業における現場の課題や途上国が直面する社会課題などを取り上げ、課題解決のための方策を討論し、成果発表を行います。

課題の設定や解決方法の議論は、大学教員及び企業、政府等からの派遣講師の指導の下で行い、問題解決能力を有するグローバル理工系人材の育成を目指します。

